

令和7年度 京大セミナー・ラボ

本校のセミナー・ラボの趣旨は「実際に最先端の学問研究の場に赴き、模擬講義や学生との交流を行ったうえで、大学で何を学ぶのか、学んだ先に何があるのか、高校でどのように行動すべきかを考える」というものです。2年生の希望者84名が吉田キャンパス・桂キャンパスに赴き、本校卒業生との座談会およびキャンパスツアー、研究室でのミニ講義・演習などを体験しました。

1 日時 令和7年7月25日（金）

2 日程 11:00-13:00 卒業生との昼食会、座談会、キャンパスツアー

13:00-15:00 研究室訪問

3 研究室 <吉田キャンパス>

国文学

 大学院文学研究科 金光桂子 先生

考古学

 大学院文学研究科 吉井秀夫 先生

法 学

 大学院公共政策連携研究部 原田大樹 先生

大学院法学研究科 大江健斗 先生

同 小川大成 先生

同 吉川聡美 先生

現 金沢大学人間社会研究域法学系 森廣祐也 先生

心理学

 人と社会の未来研究院 阿部修士 先生

同 上田祥行 先生

同 中井隆介 先生

運動医科学

 大学院人間・環境学研究科 江川達郎 先生

森林科学

 大学院農学研究科 時任美乃理 先生

情報学

 情報学研究科 辻 徹郎 先生

<桂キャンパス>

高分子化学 大学院工学研究科 大内 誠 先生

同 西川 剛 先生

合成生物化学 大学院工学研究科 生越友樹 先生

同 大谷俊介 先生

同 加藤研一 先生

以上、9つの研究室の先生方や院生の方にお世話になりました。

4 生徒の感想

<卒業生との座談会、キャンパスツアーについて>

- ・受験や学生生活の話が聞けて、これからの勉強の参考になった。
- ・京都大学に入学したいという気持ちが高まった。
- ・勉強のモチベーションが上がった。
- ・聞いたことを参考に、大学合格のために今行すべきことを考えて行動したい。
- ・先輩が自分のやりたい研究に熱心に取り組んでいることが感じられた。
- ・学生のリアルな実情や京都大学の強みなど、ネットでは分からないことを知ることができた。
- ・大学はゴールではないという言葉が印象に残り、自分は何のために大学へ行くのかをよく考えようと思った。
- ・大学院や博士課程、留学というものへの理解が深まった。

<研究室訪問について>

- ・大量の貴重な本に囲まれて、大学院生からお話を聞けて、こんな環境で研究ができればどんなに楽しいだろうと思った。
- ・大学内に文化財や遺跡があることに驚いた。残っている物から過去を推考する考古学の楽しさに触れた一日だった。
- ・法律の条文を解釈しながら根本的に考えていくのが面白くて、法を学びたいという気持ちがもっと強くなった。

- ・最先端の設備が整っていて、やりたいことを自由にとことん突き詰められる環境があるのが京大の良さの一つだと感じた。
- ・研究室で実際に大学生が研究している様子や実験を見せてもらい、化学の面白さを実感することができた。





